

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

2021(令和3)年度決算報告書(案)

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

収支計算書（資金収支）

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[4,686,000]	[4,666,528]	[19,472]	
基本財産利息収入	4,686,000	4,666,528	19,472	
特定資産運用収入	[4,000]	[809]	[3,191]	
特定資産利息収入	4,000	809	3,191	
会費入会金収入	[55,738,000]	[54,235,200]	[1,502,800]	
正会員会費収入	51,213,000	50,560,200	652,800	
賛助会員会費収入	3,225,000	3,225,000	0	
入会金収入	1,300,000	450,000	850,000	
補助金等収入	[71,080,000]	[67,231,000]	[3,849,000]	
日本財団助成金収入	71,080,000	67,231,000	3,849,000	
負担金収入	[7,725,000]	[5,880,400]	[1,844,600]	
一般事業負担金収入	242,000	176,000	66,000	
助成事業負担金収入	7,483,000	5,704,400	1,778,600	
雑収入	[1,415,000]	[1,344,716]	[70,284]	
受取利息	1,000	1,216	△ 216	
雑収入	1,414,000	1,343,500	70,500	
事業活動収入計	140,648,000	133,358,653	7,289,347	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[132,959,000]	[103,835,589]	[29,123,411]	
一般事業費支出	16,125,000	4,834,688	11,290,312	
(活性化対策)	(2,412,000)	(165,592)	(2,246,408)	
(調査指導事業)	(8,802,000)	(1,819,426)	(6,982,574)	
(刊行費)	(4,911,000)	(2,849,670)	(2,061,330)	
日本財団助成事業費支出	17,080,000	12,264,682	4,815,318	
(技術指導等)	(12,050,000)	(8,573,021)	(3,476,979)	
(絶縁抵抗測定)	(5,030,000)	(3,691,661)	(1,338,339)	
その他事業費支出	99,754,000	86,736,219	13,017,781	
(役員報酬支出)	(22,041,000)	(21,748,825)	(292,175)	
(給料手当支出)	(48,588,000)	(41,544,595)	(7,043,405)	
(退職給付支出)	(2,754,000)	(2,754,000)	(0)	
(福利厚生費支出)	(11,845,000)	(10,265,948)	(1,579,052)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	(1,020,000)	(559,392)	(460,608)	
(支払報酬支出)	(905,000)	(688,418)	(216,582)	
(事務費支出)	(2,474,000)	(1,354,222)	(1,119,778)	
(賃借料支出)	(8,900,000)	(7,635,440)	(1,264,560)	
(支払手数料支出)	(1,227,000)	(185,379)	(1,041,621)	
管理費支出	[31,231,000]	[23,109,149]	[8,121,851]	
役員報酬支出	2,450,000	2,416,537	33,463	
給料手当支出	11,361,000	11,228,802	132,198	
退職給付支出	306,000	306,000	0	
福利厚生費支出	2,962,000	2,892,940	69,060	
会議費支出	4,460,000	985,941	3,474,059	
旅費交通費支出	1,649,000	25,589	1,623,411	
物件費支出	204,000	111,877	92,123	
支払報酬支出	182,000	137,682	44,318	
事務費支出	495,000	270,844	224,156	
広告宣伝費支出	250,000	123,200	126,800	
賃借料支出	1,780,000	1,527,087	252,913	
支払手数料支出	246,000	37,073	208,927	
渉外費支出	1,200,000	318,485	881,515	
諸会費支出	1,400,000	1,359,500	40,500	
租税公課支出	1,774,000	1,240,118	533,882	
雑支出	512,000	127,474	384,526	
事業活動支出計	164,190,000	126,944,738	37,245,262	
事業活動収支差額	△ 23,542,000	6,413,915	△ 29,955,915	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	[4,360,000]	[3,778,416]	[581,584]	
退職給付引当資産取崩収入	3,060,000	3,060,000	0	
設備購入引当資産取崩収入	1,300,000	718,416	581,584	
投資活動収入計	4,360,000	3,778,416	581,584	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[13,200,000]	[12,951,394]	[248,606]	
退職給付引当資産取得支出	4,200,000	3,951,394	248,606	
事業活動準備引当資産取得支出	8,000,000	8,000,000	0	
設備購入引当資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
固定資産取得支出	[1,300,000]	[718,416]	[581,584]	
工具器具備品取得支出	900,000	718,416	181,584	
ソフトウェア取得支出	400,000	—	400,000	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
投資活動支出計	14,500,000	13,669,810	830,190	
投資活動収支差額	△ 10,140,000	△ 9,891,394	△ 248,606	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[450,000]	[—]	[450,000]	
当期収支差額	△ 34,132,000	△ 3,477,479	△ 30,654,521	
前期繰越収支差額	34,132,000	34,606,338	△ 474,338	
次期繰越収支差額	0	31,128,859	△ 31,128,859	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、仮払金、未払金、未払費用、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	44,489,227	41,768,703
未収金	6,600	4,400
前払金	—	198,000
前払費用	535,340	535,340
仮払金	—	17,920
合 計 (A)	45,031,167	42,524,363
未払金	3,384,987	3,992,988
未払費用	29,918	22,011
前受金	6,000	11,300
預り金	531,567	480,741
賞与引当金	5,970,057	6,409,264
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	432,300	409,200
合 計 (B)	10,424,829	11,395,504
次期繰越収支差額(A)-(B)	34,606,338	31,128,859

3. 科目間の流用及び予備費の使用等について

(1) 科目間の流用

以下の通り予算の流用を行った。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出			
福利厚生費支出	2,862,000	100,000	2,962,000
会議費支出	4,560,000	△ 100,000	4,460,000

(2) 予備費の使用

なし。

貸 借 対 照 表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	41,768,703	44,489,227	△ 2,720,524
未収金	4,400	6,600	△ 2,200
前払金	198,000	—	198,000
前払費用	535,340	535,340	0
仮払金	17,920	—	17,920
流動資産合計	42,524,363	45,031,167	△ 2,506,804
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53,975,200	53,975,200	0
投資有価証券	397,891,124	397,674,412	216,712
基本財産合計	451,866,324	451,649,612	216,712
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,568,848	21,677,454	891,394
事業活動準備引当資産	22,930,000	14,930,000	8,000,000
設備購入引当資産	8,706,584	8,425,000	281,584
特定資産合計	54,205,432	45,032,454	9,172,978
(3) その他の固定資産			
工具・器具及び備品	1,234,449	1,629,445	△ 394,996
ソフトウェア	513,587	1,162,191	△ 648,604
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	3,351,048	4,394,648	△ 1,043,600
固定資産合計	509,422,804	501,076,714	8,346,090
資産合計	551,947,167	546,107,881	5,839,286
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,992,988	3,384,987	608,001
未払費用	22,011	29,918	△ 7,907
前受金	11,300	6,000	5,300
預り金	480,741	531,567	△ 50,826
賞与引当金	6,409,264	5,970,057	439,207
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	409,200	432,300	△ 23,100

科 目	当年度	前年度	増減
流動負債合計	11,395,504	10,424,829	970,675
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,568,848	21,677,454	891,394
固定負債合計	22,568,848	21,677,454	891,394
負債合計	33,964,352	32,102,283	1,862,069
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	451,866,324	451,649,612	216,712
指定正味財産合計	451,866,324	451,649,612	216,712
(うち基本財産への充当額)	(451,866,324)	(451,649,612)	(216,712)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	66,116,491	62,355,986	3,760,505
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(31,636,584)	(23,355,000)	(8,281,584)
正味財産合計	517,982,815	514,005,598	3,977,217
負債及び正味財産合計	551,947,167	546,107,881	5,839,286

正味財産増減計算書

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,666,528]	[4,660,380]	[6,148]
基本財産受取利息	4,666,528	4,660,380	6,148
特定資産運用益	[809]	[3,647]	[△ 2,838]
特定資産受取利息	809	3,647	△ 2,838
受取会費入会金	[54,235,200]	[54,616,150]	[△ 380,950]
正会員受取会費	50,560,200	50,266,150	294,050
賛助会員受取会費	3,225,000	3,300,000	△ 75,000
受取入会金	450,000	1,050,000	△ 600,000
受取補助金等	[67,231,000]	[69,158,000]	[△ 1,927,000]
日本財団受取助成金	67,231,000	69,158,000	△ 1,927,000
受取負担金	[5,880,400]	[6,173,000]	[△ 292,600]
一般事業受取負担金	176,000	112,000	64,000
助成事業受取負担金	5,704,400	6,061,000	△ 356,600
雑収益	[1,344,716]	[1,449,304]	[△ 104,588]
受取利息	1,216	904	312
雑収益	1,343,500	1,448,400	△ 104,900
経常収益計	133,358,653	136,060,481	△ 2,701,828
(2) 経常費用			
事業費	[104,211,341]	[103,638,199]	[573,142]
一般事業費	4,834,688	4,365,327	469,361
(活性化対策)	(165,592)	(364,541)	(△ 198,949)
(調査指導事業)	(1,819,426)	(1,361,429)	(457,997)
(刊行費)	(2,849,670)	(2,639,357)	(210,313)
日本財団助成事業費	12,264,682	14,448,233	△ 2,183,551
(技術指導等)	(8,573,021)	(8,868,201)	(△ 295,180)
(絶縁抵抗測定)	(3,691,661)	(—)	(3,691,661)
(接着剤)	(—)	(5,580,032)	(△5,580,032)
その他事業費	87,111,971	84,824,639	2,287,332
(役員報酬)	(21,748,825)	(21,992,706)	(△ 243,881)
(給料手当)	(41,544,595)	(39,471,609)	(2,072,986)
(退職給付費用)	(3,129,752)	(3,059,686)	(70,066)
(福利厚生費)	(10,265,948)	(9,808,501)	(457,447)
(物件費)	(559,392)	(507,341)	(52,051)

科 目	当年度	前年度	増減
(支払報酬)	(688, 418)	(667, 336)	(21, 082)
(事務費)	(1, 354, 222)	(1, 436, 320)	(△ 82, 098)
(賃借料)	(7, 635, 440)	(7, 654, 540)	(△ 19, 100)
(支払手数料)	(185, 379)	(226, 600)	(△ 41, 221)
管理費	[25, 253, 319]	[24, 832, 359]	[420, 960]
役員報酬	2, 416, 537	2, 443, 634	△ 27, 097
給料手当	11, 228, 802	11, 029, 507	199, 295
退職給付費用	821, 642	1, 100, 651	△ 279, 009
福利厚生費	2, 892, 940	2, 658, 532	234, 408
会議費	985, 941	736, 385	249, 556
旅費交通費	25, 589	44, 349	△ 18, 760
減価償却費	1, 628, 528	1, 563, 904	64, 624
物件費	111, 877	101, 469	10, 408
支払報酬	137, 682	133, 464	4, 218
事務費	270, 844	287, 264	△ 16, 420
広告宣伝費	123, 200	123, 200	0
支払寄附金	—	200, 000	△ 200, 000
賃借料	1, 527, 087	1, 530, 908	△ 3, 821
支払手数料	37, 073	45, 320	△ 8, 247
渉外費	318, 485	132, 790	185, 695
諸会費	1, 359, 500	1, 359, 500	0
租税公課	1, 240, 118	1, 260, 466	△ 20, 348
雑費	127, 474	81, 016	46, 458
経常費用計	129, 464, 660	128, 470, 558	994, 102
評価損益等調整前当期経常増減額	3, 893, 993	7, 589, 923	△ 3, 695, 930
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	3, 893, 993	7, 589, 923	△ 3, 695, 930
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[133, 488]	[—]	[133, 488]
経常外費用計	133, 488	—	133, 488
当期経常外増減額	△ 133, 488	0	△ 133, 488
当期一般正味財産増減額	3, 760, 505	7, 589, 923	△ 3, 829, 418
一般正味財産期首残高	62, 355, 986	54, 766, 063	7, 589, 923
一般正味財産期末残高	66, 116, 491	62, 355, 986	3, 760, 505

科 目	当年度	前年度	増減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[216,712]	[216,712]	[0]
基本財産受取利息	216,712	216,712	0
当期指定正味財産増減額	216,712	216,712	0
指定正味財産期首残高	451,649,612	451,432,900	216,712
指定正味財産期末残高	451,866,324	451,649,612	216,712
III 正味財産期末残高	517,982,815	514,005,598	3,977,217

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

(a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

(b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

(a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

(b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

(3) 引当金の計上について

(a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

(6) 資産除去債務について

当法人は、本事務所オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,975,200	—	—	53,975,200
投資有価証券	397,674,412	216,712	—	397,891,124
小 計	451,649,612	216,712	—	451,866,324
特定資産				
退職給付引当資産	21,677,454	3,951,394	3,060,000	22,568,848
事業活動準備引当資産	14,930,000	8,000,000	—	22,930,000
設備購入引当資産	8,425,000	1,000,000	718,416	8,706,584
小 計	45,032,454	12,951,394	3,778,416	54,205,432
合 計	496,682,066	13,168,106	3,778,416	506,071,756

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,975,200	(53,975,200)	(—)	(—)
投資有価証券	397,891,124	(397,891,124)	(—)	(—)
小 計	451,866,324	(451,866,324)	(—)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	22,568,848	(—)	(—)	(22,568,848)
事業活動準備引当資産	22,930,000	(—)	(22,930,000)	(—)
設備購入引当資産	8,706,584	(—)	(8,706,584)	(—)
小 計	54,205,432	(—)	(31,636,584)	(22,568,848)
合 計	506,071,756	(451,866,324)	(31,636,584)	(22,568,848)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	4,385,140	3,150,691	1,234,449
ソフトウェア	3,663,024	3,149,437	513,587
合 計	8,048,164	6,300,128	1,748,036

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券は発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに対する管理体制

(a) 資産管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当会の資産管理規程により行っている。

(b) 信用リスク及び市場リスクの管理

債券の時価情報等について定期的に把握し、理事会に報告している。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
東日本旅客鉄道債 第39回	100,000,000	106,081,000	6,081,000
国債 利付国庫債券（20年） 第61回	19,973,496	20,208,000	234,504
東京都公債 第722回	99,998,729	100,970,000	971,271
国債 利付国庫債券（30年） 第10回	77,918,899	87,212,080	9,293,181
兵庫県公債 12年 第4回	100,000,000	102,830,000	2,830,000
合 計	397,891,124	417,301,080	19,409,956

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金 日本財団助成金	公益財団法人 日本財団	—	67,231,000	67,231,000	—	一般正味財産
合 計		—	69,231,000	67,231,000	—	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

14. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 22,568,848
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 22,568,848

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	4,743,394
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	4,743,394

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,970,057	6,409,264	5,970,057	—	6,409,264
退職給付引当金	21,677,454	3,951,394	3,060,000	—	22,568,848

財 産 目 録

2022(令和4)年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金 手元有高		67,865
普通預金 三菱UFJ銀行本店	40,942,885	
〃 三井住友銀行東京公務部	302,149	
〃 みずほ銀行虎ノ門支店	455,804	41,700,838
未収金 再交付手数料		4,400
前払金 会議室使用料		198,000
前払費用 家賃・図書購読料		535,340
仮払金 翌年度旅費		17,920
流動資産合計		42,524,363
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 三菱UFJ銀行本店		53,975,200
投資有価証券		
国債	97,892,395	
東京都公債	99,998,729	
兵庫県公債	100,000,000	
東日本旅客鉄道債	100,000,000	397,891,124
基本財産合計		451,866,324
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 三菱UFJ銀行本店	8,880,248	
〃 三井住友銀行東京公務部	7,188,600	
〃 みずほ銀行虎ノ門支店	6,500,000	22,568,848
事業活動準備引当資産		
定期預金 三菱UFJ銀行本店	22,930,000	22,930,000
設備購入引当資産		
定期預金 三菱UFJ銀行本店	5,706,584	
〃 みずほ銀行虎ノ門支店	3,000,000	8,706,584
特定資産合計		54,205,432
(3) その他の固定資産		
工具・器具及び備品 コンピューター・ ビジネス電話	4,385,140	
減価償却累計額	△3,150,691	1,234,449

科 目	金 額	
ソフトウェア	513,587	
電話加入権	235,894	
敷金 (株)東京ビー・エム・シー	1,367,118	
その他の固定資産合計	3,351,048	
固定資産合計		509,422,804
資産合計		551,947,167
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 助成金精算払い・社会保険料	3,992,988	
未払費用 コピーカウンター料・プロバイダー接続料	22,011	
前受金 翌年度分会費	11,300	
預り金 源泉所得税・住民税	480,741	
賞与引当金	6,409,264	
未払法人税等 法人都民税均等割額	70,000	
未払消費税等 消費税・地方消費税	409,200	
流動負債合計		11,395,504
2. 固定負債		
退職給付引当金	22,568,848	
固定負債合計		22,568,848
負債合計		33,964,352
正味財産		517,982,815

定款第44条第1項の規定により、2021(令和3)年度決算関係書類を上記の通り提出します。

2022(令和4)年5月10日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 山 田 信 一 郎 ㊟

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本船舶電装協会
会 長 山 田 信 一 郎 殿

私ども監事は、一般社団法人日本船舶電装協会の2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日までの業務について監査を実施いたしました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

監事は、理事会に出席するほか、協会事務局から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施いたしました。

また、当該事業年度に係わる事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 協会の業務について、法令、定款及び規則に従い適正に運用されているものと認める。
- (2) 事業報告及び附属明細書は、法令、定款及び規則に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 会計監査の結果
貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び附属明細書は、協会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認める。

2022(令和4)年5月10日

監 事 鳴 釜 孝 光 ㊟

監 事 田 岡 一 樹 ㊟

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉